

令和3年6月25日

令和3年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和3年6月23日（水）

場所：大阪府立芦間高等学校 図書室

委員：笹山幸子、田中常雄、宮坂政宏、山崎裕也、高松真由美、槇理砂（敬称略）

事務局：塩崎靖子（教頭）、菊地淳（事務長）、角山愉紀雄（首席）、亀井絵里（首席）

武田真紀子、諸木忠治、佐敷美沙、裏野健太、小原浩昭、西脇慎治、北野早苗、乙井俊輝  
伊藤義孝（校長）（敬称略）

出席者：笹山幸子、田中常雄、山崎裕也（オンライン）、槇理砂（敬称略）

欠席者：宮坂政宏、高松真由美（敬称略）

事務局：塩崎靖子、菊地淳、角山愉紀雄、亀井絵里、武田真紀子、諸木忠治、佐敷美沙、裏野健太  
小原浩昭、西脇慎治、北野早苗、乙井俊輝、伊藤義孝（敬称略）

次第

- 1 資料確認（14：00～）
- 2 授業見学（14：20～15：10）
- 3 学校運営協議会（15：30～16:45）

（1）校長挨拶

（2）議案

議案1 令和3年度 学校運営協議会 会長選出

槇理砂氏を事務局から推薦 承認

議案2 実施要項及び傍聴規定改訂について

【実施要項】

別紙により改訂

・第5条文語の整理を実施

（前略）～支援に係る協議の結果～ → （前略）～支援に係る協議結果 に修正

（中略）～本校に在籍する幼児、児童及び生徒～ → （中略）本校に在籍する生徒～  
に修正

・第10条第8項～11項にオンライン会議システムに係る内容を追記

・第10条第12項～14項に書面決議に係る内容を追記

・附則として日付を追加

承認

【傍聴規定】

別紙による改訂

・第6条を追加し、以下条文を繰り下げ

・第6条に（資料の持ち出し）について以下の通り明記

第6条 傍聴人は、特に会長が持ち出しを禁じた資料を持ち出してはならない。

承認

### 議案3 令和4年度教科書選定について

- ・現在選定中の教科書について、校内での進捗状況を説明
  - 2、3年生は現行教育課程で、新1年は新教育課程で選定するため、慎重に選定中
- ・今後スケジュール及び第2回学校運営協議会において、選定教科書を提示することを打診承認

### (3) 報告事項

#### 報告事項1 令和2年度の生徒指導状況について

- ・遅刻状況、欠席状況
- ・SNS等の生徒事案等について説明

#### 報告事項2 令和2年度進路状況について

- ・令和3年3月末卒業生の進路先について説明
- ・本校の学校経営目標に掲げている目標値に向け、尽力していくことを説明

#### 報告事項3 令和3年度学校経営計画について

- ・令和2年度中に承認いただいた、中期的目標には変化しないことを説明
- ・本年度の取組内容及び自己評価項目への追記を説明
- ・追記事項は次の通り
  - 1 新学習指導要領の理念を踏まえた生徒の確かな学力の育成及び教員の授業力の向上
    - (1) -イの具体的な取組計画・内容に
      - 昨年度普通教室に配置したプロジェクターの活用に向けて、「ICTを活用した授業推進」について追加
      - 本年度の1人1台端末の配付に向けて、「ノートPCの活用」について追加
    - 2 夢と志を育むためのキャリア教育及び進路指導の充実
      - (2) グローバル人材育成の内容を
        - 海外修学旅行中止に伴い、国内における修学旅行に対応するように文語修正
      - (4) に、共生推進教室のより一層の充実に係る内容を追加
    - 3 安全・安心で居心地のよい学校環境づくり、カウンセリングマインドを伴った生徒指導の徹底、生徒の生活規律、自己管理の徹底に
      - (4) に、新型コロナウイルス感染症への対応に係る内容を追加

### (4) 協議

- ①授業見学について
- ②全般事項について

(委員) 学年主任も同席され、生徒指導に関しても生徒指導部長の先生から説明され、SNSの指導に関して、苦勞がよく伝わってくる。

進路指導については、難関大学100名合格をめざしているということで、苦慮している様子が伝わる。ただ、子どもの思いとずれていないかが心配になる。

学校経営計画については、追加項目については、すべて必要と思う。授業や情報モラルについても課題はあるが、見えたものは情報共有されていかれるとよい。

(委員) SNS関連の問題については、どうやって発見したのか。

(事務局) 生徒から教員に相談されたことで発覚した。

(事務局) 会話とは異なり、全世界に公開されるので、1年の情報の授業でもモラルについては指導している。なりすまし被害などもあるので、人権研修などで取り上げながらモラルの向上を図っていく必要がある。

(事務局) 進路指導については、一概に難関校100名ということではなく、力をしっかりと伸ばしたうえで、最終的に上の段階をめざそうと思う生徒さんが出るとよいと思っている。大学等の定員の厳格化があり、より早く指定校で決めたいという思考となっている。力があっても最後まで粘りきれないので、やはりしっかりと力をつけてあげることが必要。

(委員) 総合学科であるため、視野が広がるように、いろいろな職業にアプローチすることが可能である。

学校経営計画についても、設置されたプロジェクターの活用なども盛り込んでいる。動画の活用もそうであるが、振り返りをしていくことが必要。外部講師の活用についても、計画的である。また、今後はアクティブラーニングや観点別評価など大変なのではないか。

(事務局) 観点別評価については、今後のスケジュールを説明。明日6月24日(木)に全体研修、7月26日(月)に各教科研修会、8月20日(金)にも研修会を実施し、2学期には試行を実施予定。

(委員) 中学校では、観点別評価を今年度から実施しているが、大混乱をしている。定期考査も意味を考えなければならない。

(事務局) 中学校も先行で実施しているので、高校と中学校で合同の研修会があってもいいかも知れない。

(委員) 卒業後の進路について、芦間の生徒は意識が高いと感じている。学校としてのイメージは良い。昨年度の進路の状況については、どうだったのか。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、最後まで頑張ろうという雰囲気よりは、安全なところに早く決めたいという雰囲気があった。より安全志向が強くなったような気がする。もう少し欲を持ってほしい。また、上位については、ある程度最後まで頑張っていたのではないかと感じる。

(委員) 達成経験が少ない生徒さんが多いような気がする。

(事務局) 少しずつ達成経験を積むような仕掛けも必要だと感じる。自己肯定感を向上させて自信を持たせてあげたい。

(委員) 例えば、アンケートを実施する際に、入学時の期待度と卒業時の満足度の測定をしてみるのも必要かも知れない。そうすると、生徒の気持ちから将来像を見出すことが可能になる。

(委員) 授業見学では、看護ではシーツ交換や、ブリーズでは3人に2人の教員がついているなど、丁寧に対応されている。親の立場になると、いろいろと言にくい場面もある。

(事務局) いろいろなご意見を頂き感謝。昨年度から国際交流もなく、何も交流にすることができていないので、途切れないように、オーストラリアのハミルトン校との交流や、夏にイングリッシュ・キャンプを計画している。観点別評価についても、今後の課題として受け止めている。是非、中学校とも合同研修ができればいいと感じている。

## (5) その他

今後の日程確認

第2回学校運営協議会 11月26日(金) 予定

第3回学校運営協議会 1月26日(水) 予定